

令和5年  
8月

北文化小劇場 催し物ご案内

2023年  
8月

開催日	催事名	開演	終演	問い合わせ先	入場料
3日 (木)	令和5年度 なごや子どものための巡回劇場 妖怪づくし 音楽物語  チケット 取扱い	①11:00 ②14:00	①12:00 ②15:00	一般社団法人 名古屋二期会 052-380-5416	全自由席 750円 (3歳から大人まで共通、3 歳未満のお子様はひざ上での鑑賞とし、お席が必要な 場合はチケットをお求めください)
5日 (土)	第20回 合同雅楽演奏会	14:00	15:30	名古屋雅楽会 若竹雅楽会 052-911-2853	無料
10日 (木)	なつやすみ こどもえいが会 「ガリバー旅行記」	14:00	15:15	北文化小劇場 052-910-3366 北図書館 052-912-8111	無料 (先着237名限定)
13日 (日)	令和5年 DolceでConcert	13:00	16:00	井村あやみ 090-3258-9759 (FAX052-217-0813)	関係者のみ
22日 (火)	名古屋ローカルヒストリー 親子で学ぶ 「からくり人形」の世界	14:00	15:00	北文化小劇場 052-910-3366	無料 (先着60名限定) ※teket 要事前申込
26日 (土)	朝っぱら！コンサート モーニングジャズ  チケット 取扱い	10:30	12:00	北文化小劇場 052-910-3366	全指定席 一般 1,500円 友の会(前売) 1,300円 障がい者等 1,300円 ※未就学児入場不可

チケット  
取扱い …北文化小劇場にてチケット取扱い

- \* 諸事情により催し物が中止となる場合がございます。開催の有無につきましては、上記問い合わせ先までご連絡ください。
- \* 非公開の催し物や練習でのご利用等のため掲載のない催し物もございます。予めご了承ください。
- \* 催し物の時間、内容等が変更になる場合がございます。

公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [北文化小劇場]  

お問い合わせ  
TEL 052-910-3366 FAX 052-910-3367

アクセス  
名古屋市北区志賀町4丁目60-31  
地下鉄名城線「黒川」下車4番出口から北へ徒歩12分

総合建設業  
株式会社 原田工務店  
052-901-3210

広告募集中！  
掲載料1枠5,000円/年  
ご希望の方は北文化小劇場まで  
TEL 052-910-3366

# 北文化小劇場だより

次世代を担う子どもたちを対象とした  
「未来の鑑賞者育成事業」を開催しました！  
(詳しくは中面にて)



あけぼの 白木  
0120-758-216

KAWAI  
NAGOYA  
052-962-3939

清酒 金虎  
052-981-3960

お料理・仕出し・うなぎ  
魚鉄  
052-911-1211



転輪太鼓グループ代表  
國分入道光雲先生

【和太鼓】第2回「和太鼓の力」

太鼓の音がどこからか聞こえてくると、なぜかドキドキして、どこから聞こえてくるか気になってしまふ。そんな思いをする人は少なくないと思います。和太鼓の音には何か人を引き付け、そしてドキドキさせるそんな力があるのでは？ではその音の響きはどのようにして生まれてくるのか、そしてどんな力があるのでしょうか？今回は私が和太鼓を始める切っ掛けと供にその力の源に迫ってみたいと思います。少し長くなりますので文字数の関係上、何回かに分けてまいります、お付き合いください。

1998年11月名古屋ドームで開催された文化イベント、世界青年平和文化祭。私はこの文化祭のファイナルの演目「和太鼓演奏」に20代の元気なよい青年をブッキングする役目を担うことに成りました。皆さんにとって和太鼓打ちのイメージってどんな感じでしょうか？屈強な若者が、鉢巻きを締め、法被を着こみ禪を締め込、勇ましくも賑やかに太鼓を打つ姿が思い浮かぶのではないのでしょうか。近所の若者に声をかけるも、みんな「和太鼓？ってなにをするんですか？」という感じ、もちろん、当の私も何と無くのイメージしか無く、最初は飲み連れて行き、口説き落としたり、当時私は32歳、男としては一番血気盛んな年代、20代などがキ扱いでしたから、今で言う、パワハラもどきで、強引に参加させるなどしながらも、数十人集めていく内に、何か・・・俺も太鼓やろうかな・・・そんな気になってしまい、オーディションカードを手に入れ、年齢詐称して、彼らと供にオーディションに紛れ込みました。結果は見事合格、私が推薦したメンバーも全員合格し、春日井軍団（地元が春日井市なので）の結成です。今回、名古屋ドームという巨大なステージでの演奏、春日井だけでなく、愛知・岐阜・三重からも青年達が集い、なんと111名の太鼓打ち、ただし全員が素人（笑）の大集団が生まれました。やはりご想像のとおりこの大素人集団、体つきがゴツイ奴らばかり。いわゆるガテン系から始まり、スポーツ関係者、武道系、格闘技系そして元ヤン、体つきも服装も考え方も自己主張が強い者ばかりが見事に集まりました。それも20代ばかり、最初の説明会から、あちら、こちらですぐに小競り合いが勃発。運営スタッフが右往左往している中、いよいよ今回、我々に和太鼓の指導をしていただく、50代と思われる、細身で、どちらかという小柄な男性が、上下黒のジャージに雪駄を引きずりながら登場です。スタッフの声に耳を貸さない連中が騒ぐ中、壇上に、凜とした気迫をまといつつも穏やかな立ち姿で登場したこの男性でしたが、マイクを持つといきなり「おまんらガタガタ抜かすんやったら、わしが勝負したる！この壇上に上がってこんかい！！」の一喝。一瞬にして会場がシ～～～ンと静まりました。本来なら運営側に回っていたはずの私、この混乱にいらいらしており、それこそブチかまそうと思っていたその時のこの一喝。「この人・・・かっこいい・・・」そう思わせてくださったのが私を和太鼓の世界に誘ってくださった「飛鳥大五郎」という男との出会いでした。

(次回へ続く・・・)

施設事業レポート

6/7(水)～6/9(金)「未来の鑑賞者育成事業」を開催しました！

次世代を担う子どもたちを対象として、生の文化芸術に触れることで、文化芸術に親しみきっかけづくりや鑑賞方法を身に着けることを目的とした「未来の鑑賞者育成事業」。今回は北区内の小学校のうち11校から4年生約700人を3日間にわたり招待し、愛知室内オーケストラの皆さんによる演奏を鑑賞してもらいました。

劇場の入口では当財団のマスコットキャラクター「オケ太郎」がお出迎え。子どもたちにも大人気です。各楽器の紹介では、様々な音色や演奏方法に子どもたちは興味津々。他にも演奏にあわせて手拍子で参加するワークショップを「リズムで世界旅行」と題し、ワルツやマーチ、音頭など世界中の曲にあわせて手拍子によるリズムで世界5カ国を巡りました。また、オーケストラの素敵な伴奏にあわせての合唱では、素敵な歌声がホールに響き渡りました。

終了後のアンケートでは、「初めてきたのでドキドキしたけどすごく楽しかったです。」「CDやテレビでしかオーケストラを聞いたことがなかったから、生で聞いてこんなに楽器の音はステキなんだと思いました。また今度は家族と一緒にいきたいです。」といった感想をいただきました。

今回の事業をきっかけに、文化芸術に親しむ未来の鑑賞者となっただけいたら嬉しく思います。



またのご来場をお待ちしています！



「リズムで世界旅行」



大人気のオケ太郎

快適以上を、世の中へ。



広告募集中！

掲載料1枠50,000円／年  
ご希望の方は北文化小劇場まで  
TEL 052-910-3366

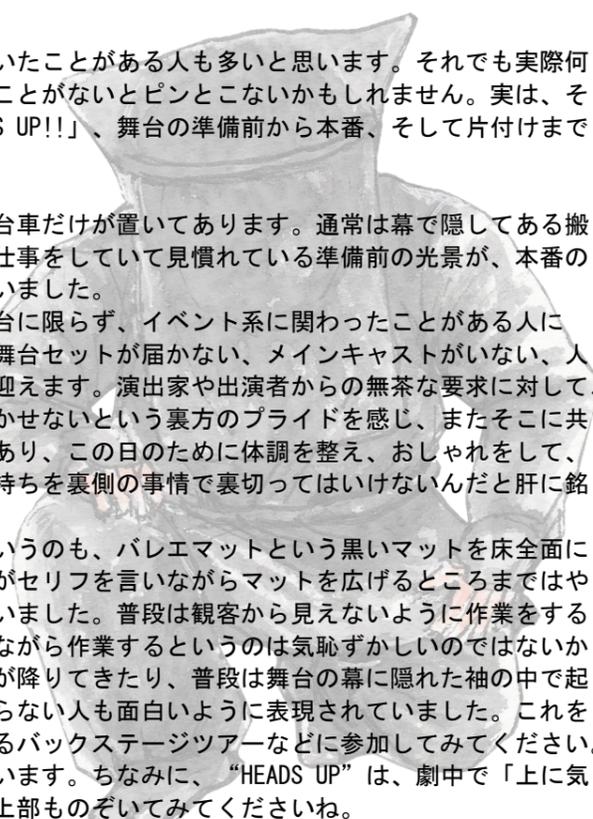
第4回「HEADS UP!!」

舞台の裏方の仕事をご存知ですか？舞台監督や音響、照明などは聞いたことがある人も多いと思います。それでも実際何をしているのか、大事にしていることはなんなのか、実際に関わったことがないとピンとこないかもしれません。実は、そんな裏方をメインにした作品があります。それがミュージカル「HEADS UP!!」、舞台の準備前から本番、そして片付けまでを時系列でずっと追っていく物語です。

幕があくと、何もセッティングのない、がらんとした舞台に平台の台車だけが置いてあります。通常は幕で隠してある搬入口や舞台に収納してある備品などもすべて丸見えです。普段裏方の仕事をしていて見慣れている準備前の光景が、本番のはずの舞台に現れていることが面白くてたまりません。わくわくしていました。

何が面白いって、最初から最後までハプニングの連続なんです。舞台に限らず、イベント系に関わったことがある人にとっては経験があることではないかと思えます。舞台監督がいない、舞台セットが届かない、メインキャストがいない、人手もない…数えきれないトラブルになんとか辻褄を合わせて、本番を迎えます。演出家や出演者からの無茶な要求に対して、その場にいる人と用意できるものでなんとかしのいで、観客には気づかせないという裏方のプライドを感じ、またそこに共感していました。作品の中には、チケットを買う側の心境を表す歌もあり、この日のために体調を整え、おしやれをして、どれだけ楽しみにしているかを歌っています。そういうお客さんの気持ちを裏側の事情で裏切っただけはいけないんだと肝に銘じる気持ちにさせてくれました。

役者ではなく、実際の裏方が出演しているシーンもありました。というのも、パレエマットという黒いマットを床全面に敷く作業を本番中にやっているからなんです。大道具担当の役者さんがセリフを言いながらマットを広げるところまではやるのですが、実際に整えるのは本当の裏方がやるという構造になっていました。普段は観客から見えないように作業をする裏方の人にとって、本番の照明が当たりながら、大勢の観客に見られながら作業するというのは気恥ずかしいのではないかと思ってしまいました。他にも本番中に舞台上部に設置してある照明が降りてきたり、普段は舞台の幕に隠れた袖の中で起こっているドタバタが見えるようになっていたり、知っている人も知らない人も面白いように表現されていました。これを見て、舞台の裏方に興味が出た人は、ぜひいろんな劇場が開催しているバックステージツアーなどに参加してみてください。そして、そのうえで、いろんな舞台を見に行ってみるのも面白いと思います。ちなみに、「HEADS UP」は、劇中で「上に気をつけろ！」という意味で使われていました。機会があれば、舞台の上部ものぞいてみてくださいね。



8月施設事業のご案内



8.10 (木) なつやすみこどもえいが会「ガリバー旅行記」

劇場の大きなスクリーンで映画を見よう！

日 時 : 8月10日(木)14:00~15:15  
場 所 : 北文化小劇場ホール  
料 金 : 無料(事前申込不要、先着237名)  
※定員になり次第、入場を締め切らせていただきます。



8.22 (火) 名古屋ローカルヒストリー 親子で学ぶ「からくり人形」の世界

目の前で動くからくり人形が見られる！

日 時 : 8月22日(火)14:00~15:00  
場 所 : 北文化小劇場ホール  
料 金 : 無料(要事前申込、先着60名)  
対 象 : 小中学生とその保護者  
出 演 : 九代玉屋庄兵衛



申込サイト

8.26 (土) 朝っぱら！コンサート「モーニングジャズ」

ジャズとともにさわやかな朝のひとときを♪

日 時 : 8月26日(土)10:30~12:00  
場 所 : 北文化小劇場ホール  
料 金 : 一般 1,500円 / 友の会・障がい者 1,300円  
※全指定席、未就学児入場不可  
出 演 : 伊藤寛哲(ギター)、ハマノユリナ(ヴォーカル)

